

調律だけじゃ
ないよ!

ピアノ調律科 学生取材レポート

『整調』・『修理』もだよ!

学生広報委員 前田、矢島



整調って何?
修理ってどんなことするの?

せいちょう 整調

整調は、全ての鍵盤の弾き心地を揃える作業のことです。音だけが良くなっても弾きにくいと良い演奏が出来ません。調律師は、調律をするときに、必ず整調という作業も行います。

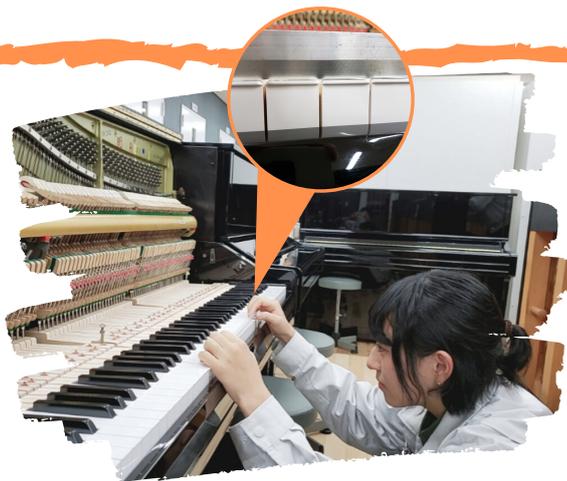
修理

ピアノについての傷や、部品が破損してしまったときなどに、それを直すのは一体誰でしょう。
切れてしまったピアノの弦を張り替えたり、傷をきれいにするのも、私たち調律師の重要な仕事です。

整調

1年生 整調 鍵盤ならし

ならしは、高さという意味です。全ての鍵盤が同じ高さになるように調整します。鍵盤の下に入っているパンチングペーパーの枚数を調節して、揃えていきます。



整調という作業には、基準の寸法が決まっており、1mm以下の細かい世界の中で、私たちはピッタリと合わせていきます。演奏者に満足していただけるようにがんばります!

難しいと感じることは、ダンパーを思うようにまっすぐにできないことです。特に、弦に並行に調整するのが難しいです。繊細な作業なので、微調整を繰り返しながら進めて行きます。



2年生 整調 ダンパー取り付け

ダンパーのワイヤーをベンチで曲げて調整します。隣のダンパーと向きを揃えたり、弦に対して、正しい角度や傾きになるようにします。

※ダンパーとは...鍵盤を押して音を出して、鍵盤を戻した時に弦を押さえ、音を止める役割を持つ部分です。

修理

ちょうげん 張弦



1年生 張弦

ピアノは弦を叩いて音を出します。その弦は、老朽化などの原因により切れてしまうことがあります。切れてしまった弦を新しい弦に張り替える作業を、張弦と言います。

新しい弦に張り替えている中で、さまざまな工夫を取り入れています。例えば、力加減や手の角度を変えるなど。

そうしていく内に、どんどん完成度が高くなり達成感がとてもあります。

バフ掛けは、弱すぎても強すぎてもうまくいかないのので、ちょうどいい押し加減を探します。

また、紙やすりをかけた傷に垂直にバフをかけないと傷が取れないので、紙やすりをまっすぐかけるようにしています。

バフ掛け



before after☆

2年生 バフ掛け

ピアノの表面の傷をきれいにする作業です。まず、傷がある部分に紙ヤスリをかけます。次に、ヤスリの傷に垂直にバフをかけて、表面をきれいに磨きます。

他

にも
聞いてみた



楽しいこと

全ての部品が均等に調整できた時や、高さや角度がきれいに揃ったときは楽しいです。少しずつ調節するので、細かい作業が好きな方には堪りません。

やりがい

私は、自分で修理した箇所を記録しています。何日に何を(どこを)何分で、どのようにタイムを計り、そのタイムが縮まっていくのを見ると達成感があります。

先生から

調律師は、音を綺麗にする調律だけでなく、タッチを調整する『整調』、傷や部品の『修理』、この2つも行ってピアノが持ち得る性能を最大限に発揮させています。



まとめ

いかがでしたか？
実際の学生たちの声を通して、調律師はこんなこともしてるんだよ、というのが理解していただけたでしょうか。
『整調』と『修理』、この2つも調律と同じくらい大事な作業です。
私たちは、この3つの技術習得に向けて、日々実習を頑張っています！
みなさんも興味があればぜひ、見学しに来てください。

